

小山田大龍地区まちづくりを考える会（幹事会）まちビジョン準備会  
第12回

2024.1.24（水）18：00～19：50

場所；大龍会館

参加者 市民12名 町田JCから3名 市3名 アドバイザーの計20名

1. 前回の報告（アドバイザー）

2. 町田青年会議所（JC）の取り組み（24年度）について紹介

「地域循環共生委員会」の取り組みで循環型ローカルSDGsモデルを作る事になった。

谷戸（里山作り）の再生とまちづくり計画を検討している大龍地区との連携を視野に入れ説明。

24年度については里山の良さを経験する取り組みとして竹（やぶ）を活用したイベントをはじめ町田市ならではのSDGsの構築に向けた取り組みを行う。

3/17に、地域の方々や活動しているの方々との交流を目的として、竹を使ったイベントを開催する。

意見として

- ①竹炭を作るなら既に伐採する必要があり、スケジュール見直しが必要。筍掘りも異常気象で4月の中旬になっている。
- ②この地域には東谷戸と奈良ばい谷戸の2か所があるが市全域を対象としているならターゲットを絞った方が良いのでは。
- ③将来的にも竹炭活用で利益を出すのは困難なのでは。
- ④まずは竹を整理して景観的にも竹藪から竹林へすることが大事。
- ⑤土地所有者として小田急との関係も整理する必要がある。等々

3. 初詣とだんご焼きの取組結果（振り返り）について

○初詣について

- ・大晦日～元旦で約190名の参加（参拝客）があった。
- ・前年に比べ多かったとの印象がある。これはチラシや看板掲出の効果があつたと考えられる。多摩ナンバー以外の車も確認された。
- ・用意した甘酒も全て無くなった。
- ・靖国神社では獅子頭で頭を噛むまねで寄付金や集客を集めている。獅子頭はあるし笛なども交えイベントとして取り組み参拝者に楽しんでもらうの

はどうか。

- ・受付など、町内会の方が手伝ってくれていた。
- ・運営も大変だと思うので検証して来年に備える必要があるのでは。

#### ○だんご焼き

- ・大人 50～60 名。こども 20 名程度の参加があった。
- ・時間を早めた事で後片付けもスムーズに済み昨年より参加者も多かった。
- ・用意した篠竹やだんご（プラナスさん用意）も参加者には良かったのはいか。（当日は風が強く、15 分遅くしてもらった。風が強いので状況を見ながら進めてはどうか）
- ・参加者が多かったのは、全戸配布のビラの効果があったと考えられる。
- ・また次回は初詣と同じように看板の設置もすると効果がより出るのはいか。
- ・いわゆるどんど焼きは、地域ごとにやっているの、外部からの集客は難しいのはいか。
- ・今後も続ける事業として考えたとき費用負担をきちんとする必要がある。

#### 4. まちビジョンの目標等の素案について

- ・アドバイザーから素案について説明を行う
- ・別途まちビジョン策定スケジュールの説明と提案  
予定では 4 月に全体会を開催し、まちビジョン案の説明を行う。  
4 月以降は町田市条例に基づき策定手続きに入り本年 9 月の町田市街づくり審査会で審議し第 1 号のまちビジョンを目指す。

#### 5. その他

- ・事務費用に関して、現在は町田市のまちビジョン策定に係る事務費を印刷費やアドバイザー派遣費用を充てているが今後は都都市づくり公社のまちづくり支援事業にエントリーして支援を受ける予定。  
大龍会館の電動シャッター改修も市の仕組みでは 1/2 補助なので残金捻出の課題があるが、今後公社の支援事業で対応できないか検証していきたい。
- ・要望として、だんご焼きというのはこの地域だけ呼称だとすると、その命名経緯を市に調べてほしい。

#### 6. 次回の準備会の予定

今回は 2 月 21 日（水）18：00～ 大龍会館  
内容：まちビジョン案の検討